



～懐かしの故郷を再現～

ふるさと鎌掛の絵屏風



▲福本さん(左上)、竜王さん(右上)、岡さん(左下)、岡井さん(右下)

昭和30年代(約50～60年前)の鎌掛の風景や人々の暮らしを屏風に描いた、「ふるさと鎌掛の絵屏風」が完成しました。

『ふるさと鎌掛の絵屏風』制作実行委員会は、昨年6月「ふるさと」の思い出を形にしよう」と、福本英一さんを代表に発足。地域の方々に当時の様子を聞き取り制作されました。

制作実行委員会を発足

甲賀市土山町の絵屏風を見て感銘を受けた福本さ

ん。地域の方々に呼びかけを行い、制作実行委員会を発足。地域の中学生や高校生、土山町の絵屏風を制作した方々も参加されました。また、滋賀県立大学の上田洋平講師からアドバイスを受けながら、約1年半かけて制作されました。

当時の記憶を形に

屏風は縦1.8m、横3.6m。田畑や立ち並ぶ家屋で鎌掛の全景が描かれています。ホンシヤクナゲ群落や、日野菜のほか、松茸やオオサンショウウオも登場。また、風呂燗きをする子どもやア

作画は、福本さん・岡杏莉さん(中学3年生)・岡井みずずさん(高校1年生)の3人が担当。鎌掛宿などの文字は、畑野円瑞さんが書かれました。作画には約8か月を費やし、岡さんや岡井さんは夏休みなどを使って励まれたそうです。福本さんは「当初から3世代の世代間で描きたいと考えていました。若い方など、たくさんの方が協力してくれたことが、ぼくにとって一番の宝物です」と喜びをあらわにされました。

絵屏風は今後、鎌掛公民館で保存されます。「地域の歴史と特徴を再認識し、若い人にも郷土愛が芽生えることを願って活用したい」と話してくださいました。

たくさんの方の協力が一番の宝

イスキャンデーを売る行商人、牛を使って畑を耕す農家など、今では見られない光景もたくさん盛り込まれています。絵の脇には、江戸時代の鎌掛宿にあった店の配置図も書かれています。聞き取りを行ったのは、学生団体「Trade」の皆さんで、代表の竜王みやびさんは、土山町の絵屏風を制作したメンバーの一員。竜王さんを含む学生達が、地域の70～80代の方十数名に聞き取り調査をされました。



地域を見守る青パト車出発!

11月12日(火)、南比都佐小学校で青パト車出発式が行われました。南比都佐地区では、平成15年に安全なまちづくり協議会が発足されたから、公民館の館車に青色回転灯を付けて防犯パトロールや、小学生の下校時に合わせて通学路への立ち番を行っておられます。

協議会では、今年5月に、日本財団の「青パト配備助成事業」に応募し当選。これまでの防犯活動が評価され、専用の青パト車が配備されることになりました。青パト車の配備を機に、更に地域の防犯活動の充実が期待されます。



ひのらこだより

日野町内の幼稚園や保育所・こども園、小・中学校での子ども達の様子や特色ある取り組みの内容を紹介していきます。

日野町立保育所 あおぞら園

子どもたちは遊びや人との関わりを通して学び、成長していきます。子どもたち一人ひとりが笑顔あふれ、その子らしく思い切り遊ぶ生活ができるように保育しています。

村井にある本園は、現在0歳児8名、1歳児8名、2歳児15名、3歳児21名、4歳児18名、5歳児17名の計87名の子どもたちがいます。

人とかかわりの中でいろいろな気持ちに気づきます。

うれしい気持ち、ありがたい気持ち、悔しい気持ち、時には悲しい気持ちを感じます。そして相手の気持ちにも気づけるようになっていきます。

0、1、2歳児は保育者との信頼関係のもと安心して遊んだり生活できるようになります。

電車が発車します。気をつけて乗ってね!



日々の遊びの中では驚きや発見がいっぱいです。

「やってみよう!」「できた!」失敗しても「またやりたい!」「もう1回!」と豊かな心が育まれていきます。



なにかいる?! どこ?どこ?

地域の方にお世話になり、さつまいも苗さしと芋ほりを行います。

本園の4、5歳児が春の遠足で鎌掛の正法寺、右楠花学校へ行きます。その日は分園にも立ち寄り、雨天の場合は分園で遊びます。



細い、長い階段だなあ。



閻魔大王様にお願いします。みんなを守ってください。

鎌掛にある鎌掛分園は、あおぞら園の分園として、1・2歳児の子どもたちが通っています。現在1歳児11名、2歳児5名の子どもたちがいます。

地域の方々との触れ合い

大きな鯉が泳いでいる池を教えてくださいました。興味津々で見つめる子どもたち。

散歩に出かけると、「こんにちは～」と声をかけていただいています。



子ども同士の触れ合い

年齢ごとに活動していることもありますが、園庭に出ると1・2歳児が砂場や遊具を共有し、「貸して」「いいよ」を学んでいきます。会話は無くても、微笑み合う姿に、繋がりを感ずります。

お山に登れるよ。

こんにちは! やぎさん。



一緒だね。



本園と分園の2歳児が交流します。昨年度は一緒にバスに乗って畜産技術センターと消防署に行きました。

手をつなごうよ!

消防車に乗ったよ。



◆問い合わせ先 子ども支援課 子ども支援担当 ☎0748-52-6583